

夏休み〜♪ 集まれ〜♪ フルノがワークショップを開催 子どもたち

かわちゃん×FURUNO×西宮阪急 第1回 西宮の海を未来へつなごう 西宮の海って、どんな海?

西宮阪急と「さかなのおにいさん かわちゃん」とのイベントを7月23日(土)に開催しました。夏休みを過ごす子どもたちに、海の魅力や楽しさを伝えて海を身近に感じてもらい、海遊びのきっかけをつくりたいと企画。定員20名に70名もの応募があり抽選に。大盛況に終わりました。



かわちゃん

魚の生態や海の大切さをイラストやオリジナルソングで伝える「かわちゃん」。TVやラジオ出演、著書も多数。魚のシャツと自作の海のマスクで登場!



トークショー

「タコの脳みそはいくつ?」などクイズを織り交ぜながら楽しく学習。イルカが超音波を出す話では、魚探の仕組みについても紹介してくれました。また、「回転寿司の大好きなネタを大人になってもずっと食べられるように」といった身近な話題から、「ゴミはポイ捨てしない」「ゴミになりそうなものは海に持っていかない」など、今自分たちができることを考えました。



は〜い! は〜い!



子どもたちが一生懸命答えてくれたのが嬉しかった!

ワークショップ

絵の具で魚のイラストに模様を描きました。クラゲやタツノオトシゴの形をハサミで切るのはちょっと難しそう。すかさずフルノのお兄さんたちがサポート。完成した作品は、西宮の海を表現したパネルに泳がせました。



好きな色で塗って、切って…。1つとして同じものがない、個性豊かな作品が完成



魚探に興味津々の子どもたち



子どもたちの笑顔が最高!

#small talk
フルノM「あの中から一人でもフルノに入ってくれたらなあ」
同R「入社してきたらLINEしますよ」
同T「その頃の世にもういない」
一同「笑」



フルノのお兄さん

ミッション! 漁師さんの網にかかるゴミはどうすればいい? 海での事故はどうしたら減らせる?

初めにミッションが子どもたちに与えられ、座学や実験などを通して自分たちで考えてみました。

1 魚群探知機の仕組みを学ぶ



魚探に映るゴミの反応を予測する子どもたち。指導は大西 祐司さん

3 自律航行を学ぶ



船が止まるまでに3km進むことにびっくり!

子どもたちと車と船の違いを議論。未来の操船についても学びます。指導は松本 大助さん



〈講師陣〉写真左から船用機器事業部の開発設計統括部 自律航行システム開発部 松本 大助さん 開発設計統括部 開発部 音響機器開発課 大西 祐司さん 開発設計統括部 開発部 音響機器開発課 御園生 哲史さん 営業統括部 船舶営業部 INS技術課 松井 真太郎さん

講師の皆さんは最初、「小学生にわかりやすく説明…。自信がありません」「緊張して胃が痛い」と話していましたが、最後にはこの笑顔

海のお仕事体験プログラム こどもわーく

小学生を対象とした海の課題を解決するお仕事体験プログラム「こどもわーく」を8月22日(月)にSOUTH WINGで実施しました。これは、「海と日本プロジェクト(日本財団)」の取り組みの一環です。当日はテレビや新聞取材も入り、賑わいました。



2 大型水槽で実証実験



予測と違っておもしろい!

魚探でレジ袋は予想と反して強く反応し赤色に。大人たちにも新たな気づきでした。指導は御園生 哲史さん

4 シミュレータ操船体験



雨や夜の海では何も見えない。子どもたちはレーダーの必要性に気づきました。指導は松井 真太郎さん

一連の体験を通して、「ミッション」の解決は簡単ではないことを学んだ子どもたちでした。未来に向かって羽ばたく子どもたちが今回の経験で、何かをつかむ良いきっかけとなりますように!